

## \*あたたかな まなざしを\*

### ～『知恵』と『知識』～

新しい年2022年、子ども、ご家族の方、保育者一人ひとりが穏やかに過ごせるように、神さまの守りの中で生活できることを感謝し、幼稚園、地域、日本、世界が穏やかで平和でありますように祈ります。そして、希望に満ちた有意義な一年になるように励みたいと思います。

現代では、子どもたちの周りにも情報があふれ、すぐに情報を得ることができます。情報を得て、知識を獲得することは、決して悪いことではありません。しかし、知識を頭で覚えるだけでよいのでしょうか？ 『知識』がどんなにたくさんあっても、『知恵』は身につけません。『知識』は情報を知っていることを指すのに対し、『知恵』は知っているだけでなくそれを活かす能力だと言われています。

私たちは毎日、数多くの問題に直面しますが、問題を対処するのに大切なのが『知恵』です。私たちは『知恵』をしぼり様々なことに対応しています。

子どもたちは、毎日の生活、遊びの中で、多くの学びがあり、成功体験・失敗体験を含めて、喜び・悲しみ、充実感・失望感などを感じながら、様々なことを学んでいます。これらのプロセスの中で、『知恵』を身につけていくのだと言えます。

このようにして得られた『知恵』は、これからの歩み（幼稚園→小学校→中学校→高等学校→・・・と続く人生において）に大きな力となり、この力を基礎に、さらに多くの『知識』を積み重ねることができます。そして、新たな『知恵』を身につけていきます。

『知恵は宝石よりも尊く、あなたの望む何物も、これと比べるに足りない。』

旧約聖書（口語訳） 箴言 3 章 15 節

子どもたちにとって『知恵』は、「宝石」とも言えるでしょう。子どもたちが体験しながら『知恵』を身につけていくプロセスを守り育てていくことが、私たち周りの大人の役割ではないでしょうか。

あたたかなまなざしを注ぎ、この大人の役割を喜びたいですね。

アウトドア派園長 赤木敏之